

前画面へ戻る

科目名	企業社会論Ⅱ
配当年次	1年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	塚本 成美(ツカモト ナルミ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 火曜日 2時限 17-306

※

①授業の概要：働くことは人間形成にとってどのような意義があるのだろうか。また、働く場＝経営はどのような関係性によって成りたっているのか。経営はそれ自体、様々な性格や考え方、素性や生活背景をもつおおくの人間が様々な諸関係を結びながら日々の生活をおくるひとつの「社会」である。経営生活における摩擦や対立、競争や協力、達成感や挫折感などの経験は、人間の人格形成や日常の心理状態におおきな影響をおよぼす。本講義では、このような前提のうえで、経営の「社会的側面」とは何かを社会学的・社会心理学的に解明し、経営生活が人間形成と、したがって社会の在り方にどのように影響するかを検討する。

授業の目的・目標 ②授業の目的：経営の社会的側面を理解することで、職業や労働を深く考える力をつけることをめざす。

③習得できる力：経営学部ディプロマポリシーあるいは全学部ディプロマポリシーとの関連については、別紙に示します。

④授業の到達目標：経営や職場の関係性と集団性を理論的に学ぶため、職業生活の中で具体的な職場に属したときに、その職場の社会関係や社会構造の特性を理解できるようになる。

⑤実務経験と授業内容との関連：なし

1回の授業について

・予習（1時間45分）：授業資料となるPDFを一週間前にWebclassにアップするのでよく読んでおくこと。

・授業で取り上げるPDFと参考書などにより、授業の大まかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明する。

・復習（1時間45分）：授業で取り上げた重要なポイントを中心に、ノートを見直し論点を整理して、確認テストを作成・提出すること。次回授業時に適宜内容を確認し、フィードバックを行う。

課題の配布や提出を行うため、WebClass等のLMSを用いる。

準備学習等の指示

## 講義スケジ

### ジュール

#### ■ 1回目

【テーマ】 経営と人間—企業社会論Ⅱの対象と観点(シラバスの説明)

【到達目標】 経営生活とはどのようなもので、それが人間形成にとってどのような意味を持つか理解できるようになる。

【準備学習】 シラバスをもちいて本講義の問題設定と構成を説明しますので、シラバスを読んできてください。

#### ■ 2回目

【テーマ】 文明社会と実業の目的—文明・実業・人間

【到達目標】 社会における職業労働は人間生活を豊かにし文明社会を構築するためのものであるが、そもそも文明社会とは何か、職業や労働とどのように結びつくのかを理解できるようになるため、職業労働の社会的意味を考えることができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■ 3回目

【テーマ】 職業労働と人間形成(1)—人間の成長過程

【到達目標】 人間形成の過程における職業労働の意味を理解することで、働くということをも自分と社会との関係の中で考えることができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■ 4回目

【テーマ】 職業労働と人間形成(2)—社会化/個性化と職業労働

【到達目標】 人格形成の過程をすることによって人間がいかに社会との関係の中で形成されているかを理解することができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■ 5回目

【テーマ】 経営の社会学的認識

【到達目標】 経営の社会的意義をあきらかにし、経営の社会学的分析に必要な社会学理論を学ぶことで、経営は社会学的にどのように認識できるかを理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■ 6回目

【テーマ】 経営の社会的側面と社会関係—経営の成立条件

【到達目標】 経営の成立条件と経営における社会関係の様々な側面を知ることで、労働者がどのような複合的な関係性の中で仕事をしているのかを理解することができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見てお

くと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■7回目

【テーマ】 人間形成における職業労働の意味は何か。(課題レポート及びフィードバック)

【到達目標】 講義の内容に沿って職業労働と人間形成の関係を論述することで、文章力が付くだけでなく、考えをまとめ自分の言葉で表現できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)や講義時のノートなどを見直し、人間形成における職業労働の意味とはどのようなものかについて自分なりの論理構成をたてておくと、レポートを書くのに便利です。

#### ■8回目

【テーマ】 経営における支配—服従関係

【到達目標】 経営における社会関係の七雄である支配—服従関係を理解することで、人間の集合体である企業経営のもつ二面性と特殊性を理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■9回目

【テーマ】 支配の概念

【到達目標】 支配とは何か、ウェーバーの概念を学ぶことで企業経営における権力と支配の正当性、および支配構造の組織的特質が理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■10回目

【テーマ】 職場の社会集団

【到達目標】 職場集団の特性、集団の統一性と凝集性、集団意識の形成と職場共同体などの概念を学び社会集団としての職場/経営における団結や意識とはどのようなことなのかを理解することで、仕事をするうえでの協働とはどのようなことなのかを理解することができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイントを見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■11回目

【テーマ】 社会構成体としての経営—集団意識と経営雰囲気

【到達目標】 人間集合体としての経営の関係性と集団性によって醸成される経営風土や経営雰囲気の存在を知ること、構成員がどのように結合しているかを知ること、経営がいかに社会的に構成されているかを理解できるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくと理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■12回目

【テーマ】 経営と組織原理

【到達目標】 経営生活の規定要因、「管理の一般原則」と管理活動の社会学的意味など、経営生活のあり方を第一義的に規定する管理活動の社会学的分析によって、労働の強制性と拘束性を理解することができるようになる。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)を見ておくとう理解が深まります。また、パワーポイントを印刷して講義に持参し、メモをとりながら聴くと復習するときに便利です。

#### ■ 13回目

【テーマ】 近代経営と日本の経営

【到達目標】 社会構成体としての経営/職場の特質を論述することで自分の考えを練り、将来マネジメントにたずさわるときの深い洞察力が身につく。

【準備学習】 Webclassにアップしてある講義資料のパワーポイント(PDF)や講義時のノートなどを見直し、社会構成体としての経営とはどのようなものかについて自分なりの論理構成をたてておく、レポートを書くのに便利です。

#### 教科書

なし。ただし、講義資料のパワーポイント(PDF)は、テキストの代わりになるようかなりの内容を書き込みます。

#### 参考文献

安田尚道/塚本成美『社会的排除と企業の役割』同友館

石坂巖編著『経営システムの日本的展開』創成社

石坂巖編著『文明の実業人』巖書房

その他 講義のなかで紹介する

1.講義方式でおこないます。

①原則として対面でおこないますが、Zoomによるオンラインのリアル配信もおこないます。

②講義は録画してWebclassにアップし、オンデマンドでの視聴もできるようにします。

③講義の内容は、事前にWebclassにアップロードしておきます。

#### 授業の方法

2.セメスター期間中に1-2回講義内容についての課題レポートを書いてもらいます(授業スケジュール参照)。課題レポートについては、次の講義時にフィードバックをおこないます。

3.双方向性を確保するために、講義後に確認テスト(リアクションペーパー)を提出してもらいます。確認テストでは、その日の講義内容および質問やわかったこと、感想などについて書いてもらいます。

①次回講義の最初に前回講義の復習をかねて、確認テストの答えと質問等のフィードバックをおこないます。

②履修者のコメントや感想は、匿名でWebclassにアップし共有します。いろいろな意見を参考にしながら講義内容の理解を深めていきます(問答法)。

4.課題レポートと確認テストの提出はすべて、Webclassでおこないます。

#### 成績評価方法

【評価方法・割合】 確認テスト(50%)、中間課題レポート(25%)、期末テスト(25%)で評価します。

【基準】 (1)講義の理解度を、レポートの場合は、①論点が網羅されているか、②論点に関して十分な説明や論述が行われているか、③問題を正しく理解し、自分の言葉で理解して表現しているか、④論理的に構成されているか、⑤全体の分量などで評価します。(2)確認テストの場合は、①正解がわかっているか、②質問は適切か、

③講義 内容を言語化できているかなど、で評価します。

【フィードバック方法】なお、課題等については、「授業の方法」でも書いたように、次回講義時に全体に向けてコメントします。

オフィスア  
ワー

居室 17-412

ホームペー  
ジ

その他特記  
事項

添付ファイ  
ル

[前画面へ戻る](#)

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011